

「意欲的に学び、高めあい、地域から信頼され誇りに思える学校」をめざして



布水だより

No. 8 (学校評価)

令和3年 10月 26日
布水中学校
校長 松田 英樹

令和3年度「前期 学校評価アンケート」について

学校評価は法令等に基き、「各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること」を目的に行われるものです。今年度前期は保護者の皆さんの全回答のうち99%以上がGoogleフォーム(昨年度後期より導入)による回答でした。昨年度前期より大幅に回答率が上昇しておりました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

また、9月中旬には学校関係者評価委員会を開催し、授業の様子をご覧いただいた後、学校評価アンケートの結果・分析等について、評価・助言等をいただきました。

前期の結果を生かし、後期の教育活動の改善と具体的な取組の工夫を図ってまいります。

◇◆◇ 各アンケート結果と学校関係者評価 ◇◆◇

【アンケートの回答 …①あてはまる ②どちらかというあてはまる ③どちらかというあてはまらない ④あてはまらない
⑤わからない (※⑤は保護者アンケートのみ)】

【各符号 …◎各重点の目標、◆新規設問(昨年度の数値無)、・学校関係者評価・助言、☆改善策(後期取組へ)】

(1) 確かな学力の定着

◎新学習指導要領の全面実施に対応し、生徒が達成感を感じられる授業を実践する。

教員『わかる授業、達成感のある授業となるように努めた』(①+②)

A:95%以上 B:90%以上 C:80%以上 D:80%未満 R3.7:100% (R2.7:97%) →A

生徒『学校の授業がわかる』(①+②)

A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満 R3.7:85% (R2.7:91%) →B

保護者『お子さんは、授業がわかりやすいと言っている』(①+②)

A:80%以上 B:70%以上 C:60%以上 D:60%未満 R3.7:58% (R2.7:73%) →D

[学校関係者評価]

- ・授業は、小学校時より落ち着いていて、成長していると感じた。
- ・子どもの記憶に残る授業を継続することが大切である。
- ・保護者へ様々な形で、もっと情報を伝えることが大切である。

- (1) ☆自信を持ってまとめを書ける・達成感や成長を感じられるよう、個に応じた指導場面を増やします。
- (2) ☆生徒の活動状況を様々な方法で発信し、保護者の皆さんの理解を得られるよう努めます。

(2) 豊かな心の育成

◎生徒が自らの良さや成長を実感できるよう、取り組みの目的・目標を明確にし、質を向上させる。

生徒『学校行事や生徒会活動に積極的に取り組んでいる』(①+②)

A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満 R3.7:83% (R2.7:78%) →B

生徒◆『自分は学校の一員だと感じている』(①+②)

A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満 R3.7:89% →B

教員『学校行事や生徒会活動が生徒の主体的活動になるよう指導した』(①+②)

A:85%以上 B:75%以上 C:65%以上 D:65%未満 R3.7:92% (R2.7:76%) →A

保護者『お子さんは学校行事や生徒会活動に取り組んでいる』(①+②)

A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満 R3.7:78% (R2.7:82%) →C

[学校関係者評価]

- ・一人一役を持たせる取り組みはよい。一人一台端末の導入で、さらに新しい役割や力を発揮できる生徒が出てくるのではないかと。
- ・子どもたちや新任の先生に、野々市市のことをもっと知ってもらえる機会があるとよい。

- (1) ☆コロナ下の制約はあっても今後の行事を工夫し、積極的に参加できる雰囲気作りを心掛けます。
- (2) ☆総合的な学習の時間に野々市市の歴史文化、産業などについて学んだ成果をもっと発信できるようにします。

(3)健全な体の育成

◎生徒が自己の健康と安全への意識と実践力を高めることができるようにする。

教員◆『健康教育や安全指導を通して安全・安心な学校づくりに努めた』(①+②)

A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満 R3.7:100% →A

教員『部活動に係る活動方針に従って活動している』(①のみ)

A:80%以上 B:70%以上 C:60%以上 D:60%未満 R3.7:67% (R2.7:68%) →C

生徒『部活動に積極的に取り組んでいる』(①+②)

A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満 R3.7:92% (R2.7:93%) →A

[学校関係者評価]

- ・心身の成長のためには、脳の成長が必要。そのためには、特に『睡眠(の重要性)』を含めての育成が大切である。
- ・部活動の時間について、保護者の中には当然活動方針を守ってほしいという意見もあれば、もっとやってほしいと考えている方もいる。

(1) ☆保健だよりや学校、学年だよりで、健康教育や安全指導についての啓発を継続していきます。

(2) ☆部活動に係る活動方針を教員間で再確認し、生徒・教員ともに無理のない、持続可能な活動となるよう計画・実践していきます。

(4)重点に迫る体制づくり

◎安心安全で学びがいのある学校づくり、働きがいのある学校づくりを進める。

教員『保護者との連携について意識的に取り組んだ』(①+②)

A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満 R3.7:94% (R2.7:88%) →A

教員『情報共有に努め、報告・連絡・相談を着実に実行し組織的に対応している』(①+②)

A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満 R3.7:100% (R2.7:100%) →A

教員『本校の業務改善は進んでいる』(①+②)

A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満 R3.7:77% (R2.7:74%) →B

教員『時間外勤務時間』(平均)

A:45h以下 B:60h以下 C:70h以下 D:70hより多い

R3.4:D(85:44)、5:C(65:41)、6:D(71:25)、7:C(62:59) →D

教員◆『授業や行事等の中で、目的に応じてクロームブック等の情報端末を活用した指導ができた』(①+②)

A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満 R3.7:72% →C

[学校関係者評価]

- ・時間外勤務時間が多いのはやはり問題である。先生が忙しい中でも力を発揮できるように、地域が協力できる部分が他にもないか模索してはどうか。
- ・保護者への発信内容に、業務改善の取組自体をもっと入れてはどうか。

(1) ☆時間外勤務の多い職員への支援・指導を継続していきます。次年度に向けて、校務分掌や業務分担の抜本的な見直しを推進していきます。

(2) ☆クロームブック等の情報機器を活用した授業推進のため、引き続き有効な研修を行っていきます。

◆◆自由記述欄 ◆◆について

アンケート末に『自由記述欄』を設定しました。50件弱の多岐にわたる「ご意見、ご要望、感謝のお言葉、ご報告、等々」をいただきました。ありがとうございました。一部をご紹介します。

- ・運動部のことはよくお便りに記載されていますが、文化部も大会とか出ているのでもうちょっと紹介してあげてください。部活は運動部だけではないので。(他1件)

→ 部活動後援会広報、各便り、月予定等で、漏れがないよう確認していきます。

- ・アンケートの内容は、実際にはわからないことも多く(挨拶しているかどうかなど)、答えることに意味があるのか疑問があります。(他3件)

→ 既述いたしましたように、学校評価は、自らの教育活動等の組織的・継続的な改善を目的としています。過年度との比較のために継続的にお尋ねしている項目も多く、コロナ禍の様々な制限下では、お答えになりにくいものもあると思いますが、可能な範囲でご協力いただければ幸いです。

* 学校だよりを通して、お答えできないご質問等もございましたが、今後のより良い学校作りのための参考とさせていただきます。今後ともご協力くださいますようお願いいたします。